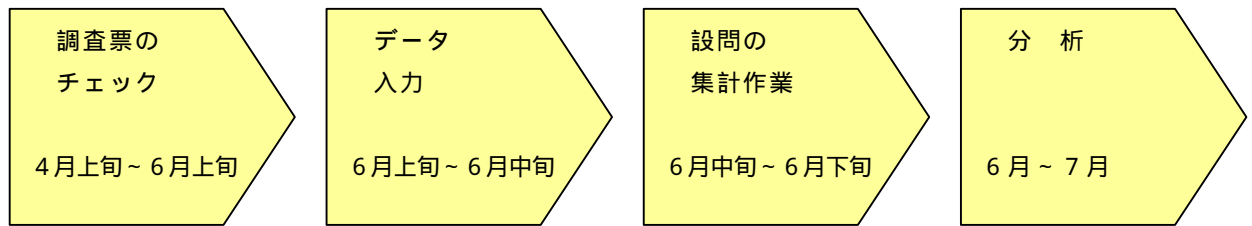


## アンケート票の入力作業

---



### 調査票のチェック

回収された調査票の回答が、設問の回答形式になっていないが、一義的な回答であり客観的に訂正可能な場合は訂正する。(複数の回答を想定し得ない場合)

なお、回答内容に複数の解釈が可能な場合は、処理を行わないこととする。

### データ入力

チェック後の調査票についてデータ入力し、以下の確認を行う。

- ア．同じ調査票を2名で入力し作成データを比較・確認する
- イ．アで入力したデータについて、原票と比較・確認する。

### 設問の集計作業

単純集計(各設問毎に比率や平均等を集計)

クロス集計(関連する設問をクロスして集計)

論理的に矛盾のあるアンケート票を集計するため、矛盾した内容を含む集計結果になる恐れがある。このため、矛盾した内容を含む集計結果を整理した場合には、適切な説明を付しておく。

### 分析

集計結果の分析

## アンケート票のチェック方針

アンケート票のチェックは、データ入力前に、回答者のミス等によってアンケートの設問に何らかの誤りがある可能性があるものについてチェックを行い、ルールを決めて必要な処理を行うものである。

### 基本方針

問2～問8のいずれかに回答しているアンケート票を、入力の対象とする。

(問2～問8は、あっせん事項の調査項目に該当)

正しい回答が明らかまたは誤回答箇所が明らかであり、客観的に訂正可能な場合  
必要な処理(訂正・削除)を行う

回答内容に複数の解釈が可能な場合  
処理は行わない(そのままとする)

チェック項目	処理方法(案)	該当票数
アンケート対象者でないか (尼崎の対象4路線を通行していない)	複数の解釈が可能であるため、そのままとする	332
記入欄の間違いや、文字で記入されているなど、入力できない回答記入上の誤りはないか	回答が明らかであれば訂正判断を要する場合は無回答	475
回答しなければならない箇所に、記入漏れはないか	複数の解釈が可能であるため、追記はせず、そのまま無回答とする	230
各設問の対象外の箇所に、回答していないか	複数の解釈が可能であるため、そのままとする	1,650
ありえない回答選択肢番号が記入されていないか	誤回答が明らかであれば、該当する回答を削除	280
転換意向(変更する、しない、わからない等)に、2つ以上回答していないか	複数の解釈が可能であるため、そのままとする	5
制限回答形式の設問(3つ以内)に、4つ以上回答していないか	複数の解釈が可能であるため、そのままとする	75
湾岸線の割引額が、最大値を超えていないか	複数の解釈が可能であるため、そのままとする	1

該当票数は、1票の中で該当する設問が複数あっても1票として計上(約2,228票を対象とした概数)

【事例紹介】

	チェック事例	チェック項目	対応(案)
事例 1	アンケートの対象者でない (問 2 で尼崎の対象 4 路線を通行していない)		問 2 が誤記入・記入漏れの可能性もあり対象者でないと判断できないため、そのままとする
事例 2	割引額に文字(半額等)が記入されている		文字を金額に訂正する
事例 3	変更するルート番号に無関係の文字が記入されている		判断できないため無回答とする
事例 4	各設問の対象者でないのに回答している		問 1、問 2 が誤記入・記入漏れの可能性もあり対象者でないと判断できないため、そのままとする
	問 1 で道交法大型車でない 問 4、問 5 に回答		
	問 2 で尼崎の 43 号を未通行 問 4、問 5 に回答		
	問 1 で阪高料金大型でない 問 6 以降に回答		
事例 5	通行していない路線に回答している(問 3) (問 2 で湾岸線のみを通行 43 号回答欄に回答)		問 2 が誤記入・記入漏れの可能性もあり通行していないと判断できないため、そのままとする
事例 6	転換意向に、複数回答している。 (「1.変更する」と「2.変更しない」に回答等)		どちらが誤記入か判断できないため、そのままとする
事例 7	ルートを変更しない理由等の設問で「3つ以内」の回答数を超過している		どの選択肢が余剰分であるか判断できないため、すべてそのままとする
事例 8	変更する割引額等を回答しているのに、転換意向「変更する」が無回答(記入漏れ)		転換意向の記入漏れであるか、変更する割引額等を回答したことが誤記入であるのか判断できないため、そのままとする
事例 9	転換意向で「変更しない」と回答しているのに、変更する割引額等を回答している		転換意向を誤記入している可能性もあり判断できないため、そのままとする
事例 10	変更するルートに、問 2 の通行ルートに無い番号が記入されている		明らかな誤記入であるため、該当箇所を削除する
事例 11	変更するルートに、規制対象外の通行ルート番号が記入されている (湾岸線に変更するルート 湾岸の通行ルートを回答等)		問 2 が誤記入・記入漏れの可能性もあり規制対象外と判断できないため、そのままとする
事例 12	割引額が最大値を超過している (西線の割引額を 1200 円と記入 上限 1000 円)		対象路線を誤記入している可能性もあり判断できないため、そのままとする

問 2 関連

	チェック事例	チェック項目	対応(案)
事例 1 3	出発地・目的地に、地名が文字で記入されており、入力できない		文字を該当する番号に訂正する
事例 1 4	出発地・目的地に選択肢にない番号を記入しており、入力できない		正しい回答が判断できないため無回答とする
事例 1 5	時刻を 24 時間制で記入していない		24 時間制に訂正する
事例 1 6	2 号の交差点番号が 43 号の通行区間に記入されている等、記入欄を間違えている		正しい記入位置に修正する
事例 1 7	有料道路の通行ランプ番号を誤った回答欄に記入している		正しい記入位置に修正する
事例 1 8	通行区間のランプ番号等が片方(出口)の回答欄にしか記入されていない		記入漏れ箇所の回答が不明であるため、そのままとする

【調査票のチェック】(事例1)

点検項目	対応
アンケートの対象者でない (問2で尼崎の対象4路線を通行していない)	問2が誤記入・記入漏れの可能性もあり対象者でないと判断できないため、そのままとする

神戸～西宮区間のみを通行し、尼崎市域を通行していないため、アンケート対象外となるが、通行ルートへの記入漏れの可能性も考えられることからそのままとする。

表の記入方法

(1) 調査日にあなたが運行した出発地・目的地を以下から選び、ご記入下さい。	(2) 出発地～目的地までの間に、どの交差点間を通行しましたか。	(3) 出発地～目的地までの間に、どのIC・ランプを出入しましたか。
1. 尼崎市南部 (国道2号以南)      2. 尼崎市北部 (国道2号以北) 3. 西宮市・芦屋市                      4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区) 5. その他の神戸市                      6. 大阪市 (西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区) 7. その他の大阪市                      8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町 9. 丹波・但馬地域                      10. 淡路島・四国 11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西      12. 大阪府以东	図中の ①～②③ から選択してください。	図中の ②④～⑤⑥ から選択してください。  出入したIC・ランプを図中の ⑦～⑧ から選択してください。  図中にIC・ランプ番号がない場合は、直接名称をご記入ください。  阪神高速神戸線と湾岸線・ルバーヴィエを乗継がれた場合、そのランプ番号を( )にご記入ください。

回答欄 通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道43号の通行区間	国道2号の通行区間	有料道路の通行区間	
							入口IC・入口ランプ	出口IC・出口ランプ
1	3	4	6 時台	7 時台	14 → 24	→	( )	( )
2	4	3	9 時台	10 時台	→	→	82	( ) ( ) 77
3			時台	時台	→	→	( )	( )
4			時台	時台	→	→	( )	( )
5			時台	時台	→	→	( )	( )
6			時台	時台	→	→	( )	( )
7			時台	時台	→	→	( )	( )
8			時台	時台	→	→	( )	( )
9			時台	時台	→	→	( )	( )
10			時台	時台	→	→	( )	( )

→ 問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック】(事例2)

点検項目	対応
割引額に文字(半額等)が記入されている	文字を金額に訂正する

西線～東線の通行料金が2,400円であるため、半分と記入されている回答を、1,200円とする。

**問6** 阪神高速道路で行われている「環境ロードプライシング」の試行について、お聞きします。

**(1)** 現在の阪神高速道路の通行料金は、右頁に示すとおりです。

1) 阪神高速湾岸線の料金が、いくら割引かれたら、調査日の通行ルートを変更されますか。

**回答欄** 1～3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

1.湾岸線に変更する      2.変更しない      3.わからない

↓ /200

割引額：~~半分~~円 (通常料金からの割引の金額を記入してください。)

割引対象区間：1.西線  2.西線～東線 3.東線 (どれか1つ○で囲んでください。)

↓ 湾岸線に変更する通行ルート番号を **回答欄B** の回答欄から全て選び、ご記入ください。

★ 変更する通行ルート番号 ( ..... )

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。



【調査票のチェック】(事例4)

点検項目	対応
各設問の対象外でないのに回答している	⇒ 問1、問2が誤記入・記入漏れの可能性もあり対象者でないと判断できないため、そのままとする

問1の設問で道交法の大型車に該当しておらず、問4の設問の対象外となるが、問1を誤記入している可能性もあるためそのままとする。

(問1)

**問1** 調査日に運行した大型車のナンバープレートについて、該当するものに○印をつけてください。

ナンバープレートの番号 ( 0 1 2  8 9 )

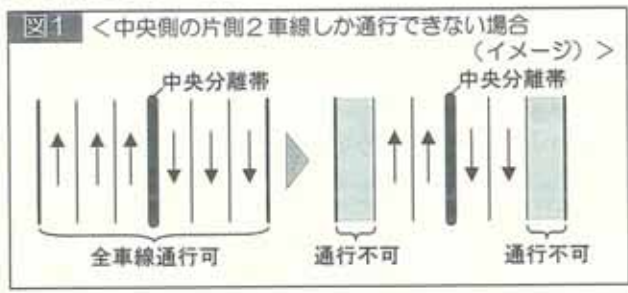
ナンバープレートの寸法 (  中板  大板 )

(問4)

**問4** 仮に、国道43号(尼崎市内)で、大型車の通行できる車線数が片側1~2車線に制限された場合を想定し、お答えください。

(1) あなたは、調査日の通行ルートを変更されますか。

ア) 中央側の片側2車線しか通行できない場合



**回答欄** 1~3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

1.変更する       2.変更しない      3.わからない

↓ 変更先となる道路ごとに、変更する通行ルート番号を  
 図Bの回答欄から全て選び、ご記入ください。

・国道2号 ( \_\_\_\_\_ )

・阪神高速神戸線 ( \_\_\_\_\_ )

・阪神高速湾岸線 ( \_\_\_\_\_ )

・その他の道路 ( \_\_\_\_\_ )

注) 国道2号の淀川以东は、9~19時の間、大型車の通行が規制されています(日・祝日は除く)。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。



【調査票のチェック】(事例5)

点検項目	対応
通行していない路線に回答している(問3) (問2で湾岸線のみを通行 43号回答欄に回答)	問2が誤記入・記入漏れの可能性もあり通行していないと判断できないため、そのままとする

問2の回答より国道43号は、尼崎市域を通行していないため、国道43号の欄は回答対象外となるが、通行ルートへの記入漏れの可能性もあるためそのままとする。

**問3** 調査日に、あなたが通行した尼崎市内の道路について、その道路を選んだ理由は何ですか。道路ごとに、あてはまる欄に○印をつけてください(3つ以内)。

道路を選んだ理由	国道2号	国道43号	阪神高速神戸線	阪神高速湾岸線
1. 自社の指定だから				
2. 荷主の指定だから				
3. 出発地、立ち寄り地、目的地から近いから				
4. 沿道に用事があるから				
5. 早く走れるから				
6. 所要時間が狭めるから				○
7. 安全で走りやすいから		○		
8. 料金が安い・無料だから				
9. その他				

(問2)

通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道43号の通行区間	国道2号の通行区間	有料道路の通行区間	
							入口IC・入口ランプ	出口IC・出口ランプ
1			5時台	6時台	→	→	71	82
2			時台	時台	→	→	( )	( )
3			時台	時台	→	→	( )	( )
4			時台	時台	→	→	( )	( )
5			時台	時台	→	→	( )	( )
6			時台	時台	→	→	( )	( )
7			時台	時台	→	→	( )	( )
8			時台	時台	→	→	( )	( )
9			時台	時台	→	→	( )	( )
10			時台	時台	→	→	( )	( )

→問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

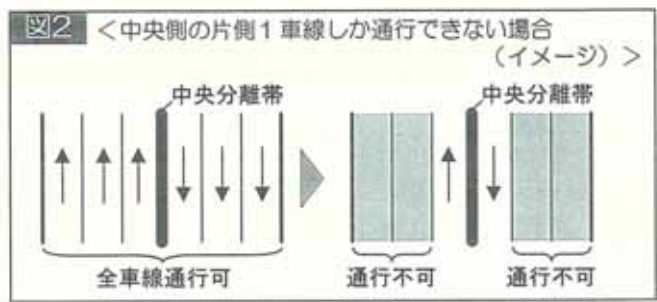
注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック】(事例6)

点検項目	対 応
転換意向に、複数回答している。 (「1.変更する」と「2.変更しない」に回答等)	どちらが誤記入か判断できないため、そのままとする

単一回答であるが、「1.変更する」と「2.変更しない」に回答しており、どちらが誤記入か判断できないためそのままとする。

(2) 中央側の片側1車線しか通行できない場合を想定して、お答えください。



1) 阪神高速湾岸線の料金が、いくら割引かれたら、調査日の通行ルートを変更されますか。

回答欄 1~3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

- ①湾岸線に変更する      ②湾岸線には変更しない      3.わからない

割引額 : 1000 円 (通常料金からの割引の金額を記入してください。)


割引対象区間: ①西線 2.西線~東線 3.東線 (どれか1つ○で囲んでください。)

湾岸線に変更する通行ルート番号を 図B の回答欄から全て選び、ご記入ください。

変更する通行ルート番号 ( \_\_\_\_\_ )

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック】(事例7)

点検項目	対応
ルートを変更しない理由等の設問で「3つ以内」の回答数を超過している	 どの選択肢が余剰分であるか判断できないため、すべてそのままとする

設問条件が「3つ以内」の選択になっているが、5つの項目にチェックしているが、どれか余剰分が判断できないためそのままとする。

(2) (1) で「2変更しない」を1つでも選ばれた方に、お聞きします。

国道43号を通行し続ける理由は、何ですか。

**回答欄** あてはまる番号に、○印をつけてください(3つ以内)。

1. 自社、荷主から指定されているから
2. 出発地、立ち寄り地、目的地から遠くなるから
3. 国道43号沿いに用事があるから
4. 湾岸線へのアクセス道路が走りにくいから
5. 湾岸線へのアクセスに時間がかかるから
6. 早く走れるから
7. 所要時間が読めるから
8. 安全で走りやすいから
9. 湾岸線の料金割引が小さいから
10. 阪神高速は通行料金がかかるから
11. その他

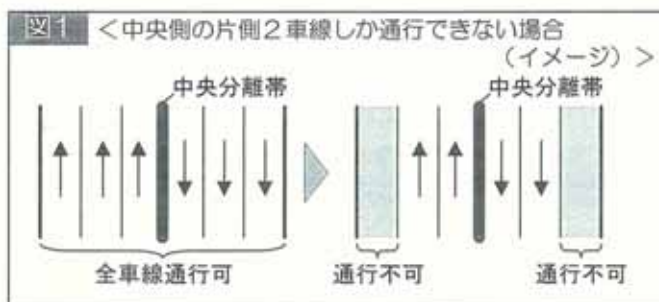
注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック】(事例8)

点検項目	対応
変更する割引額等を回答しているのに、転換意向「変更する」が無回答(記入漏れ)	転換意向の記入漏れであるか、変更する割引額等を回答したことが誤記入であるかの判断できないため、そのままとする

割引額を回答しているが、転換意向に回答していないため、無回答とする。割引額については、そのままとする。

(1) 中央側の片側2車線しか通行できない場合を想定して、お答えください。



1) 阪神高速湾岸線の料金が、いくら割引かれたら、調査日の通行ルートを湾岸線に変更されますか。

回答欄 1～3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

- 1.湾岸線に変更する      2.湾岸線には変更しない      3.わからない

↓

割引額： <u>1200</u> 円	(通常料金からの割引の金額を記入してください。)
割引対象区間： 1.西線 2.西線～東線 3.東線	
(どれか1つ○で囲んでください。)	

↓

湾岸線に変更する通行ルート番号を **図B** の回答欄から全て選び、ご記入ください。

変更する通行ルート番号 ( ..... )

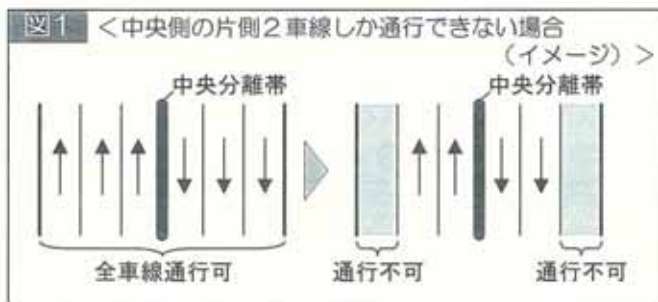
注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック】(事例9)

点検項目	対応
転換意向で「変更しない」と回答しているのに、 変更する割引額等を回答している	転換意向を誤記入している可能性 もあり判断できないため、そのま まとす

転換意向で「2. 変更しない」と回答しているが、以降の設問に回答しているが、誤記入の可能性もあり判断できないためそのままとする。

(1) 中央側の片側2車線しか通行できない場合を想定して、お答えください。



1) 阪神高速湾岸線の料金が、いくら割引かれたら、調査日の通行ルートを変更されますか。

回答欄 1~3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

1.湾岸線に変更する      ②湾岸線には変更しない      3.わからない

割引額 : 1000 円 (通常料金からの割引の金額を記入してください。)  
 割引対象区間: 1.西線 2.西線~東線 ③東線 (どれか1つ○で囲んでください。)

湾岸線に変更する通行ルート番号を 図B の回答欄から全て選び、ご記入ください。  
 変更する通行ルート番号 ( )

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック】(事例10)

点検項目	対応
変更するルートに、問2の通行ルートに無い番号が記入されている	明らかな誤記入であるため、該当箇所を削除する

変更するルート番号に「71～81」、「82」と通行ルート番号以外の数字を回答しているため、無回答とする。

**問6** 阪神高速道路で行われている「環境ロードプライシング」の試行について、お聞きします。

**(1)** 現在の阪神高速道路の通行料金は、右頁に示すとおりです。

1) 阪神高速湾岸線の料金が、いくら割引かれたら、調査日の通行ルートを湾岸線に変更されますか。

回答欄 1～3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

1.湾岸線に変更する      2.変更しない      ③わからない

割引額：\_\_\_\_\_円 (通常料金からの割引の金額を記入してください。)  
 割引対象区間：1.西線 ②西線～東線 3.東線 (どれか1つ○で囲んでください。)

湾岸線に変更する通行ルート番号を ②B の回答欄から全て選び、ご記入ください。

★ 変更する通行ルート番号 ( ~~71～81, 82~~ )

2) 阪神高速神戸線の料金が、いくら割増しされたら、調査日の通行ルートを神戸線以外の道路に変更されますか。

回答欄 1～3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

1.神戸線以外に変更する      2.変更しない      ③わからない

割増額：\_\_\_\_\_円 (通常料金からの割増しの金額を記入してください。)  
 割増対象区間：1.西線 ②西線～東線 3.東線 (どれか1つ○で囲んでください。)

変更先となる道路ごとに、変更する通行ルート番号を ②B の回答欄から全て選び、ご記入ください。

国道2号 ( \_\_\_\_\_ )

国道43号 ( \_\_\_\_\_ )

★ 阪神高速湾岸線 ( ~~71～81, 82~~ )

その他の道路 ( \_\_\_\_\_ )

注) 国道2号の淀川以东は、9～19時の間、大型車の通行が規制されています(日・祝日は除く)。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック】(事例11)

点検項目	対応
変更するルートに、規制対象外の通行ルート番号が記入されている (湾岸に変更するルート 湾岸の通行ルートを回答等)	問2が誤記入・記入漏れの可能性もあり規制対象外と判断できないため、そのままとする

通行ルート番号：2は湾岸線を通行しており、設問の「湾岸線へ変更する通行ルート」に矛盾しているが、問2が誤記入の可能性もあるためそのままとする。

(問8)

(1) 阪神高速湾岸線の料金が、いくら割引かれたら、調査日の通行ルートを湾岸線に変更されますか。

回答欄 1～3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

①湾岸線に変更する      2.湾岸線には変更しない      3.わからない

割引額： 700 円 (通常料金からの割引の金額を記入してください。)  
割引対象区間：1.西線 ②西線～東線 3.東線 (どれか1つ○で囲んでください。)

湾岸線に変更する通行ルート番号を 回答欄 の回答欄から全て選び、ご記入ください。

変更する通行ルート番号 ( 1, 2 )

(問2)

通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道43号の通行区間	国道2号の通行区間	有料道路の通行区間	
							入りIC・入ランプ	出りIC・出ランプ
1	③	④	6時台	7時台	14→24	→	( ) ( )	( ) ( )
2	④	③	9時台	10時台	→	→	82 ( ) ( )	( ) 77
3			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
4			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
5			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
6			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
7			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
8			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
9			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
10			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )

→ 問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック】(事例12)

点検項目	対 応
割引額が最大値を超過している (西線の割引額を1200円と記入 上限1000円)	対象路線を誤記入している可能性 もあり判断できないため、そのま まとする

西線の割引額は最大1000円であるが、  
1,200円と記入しており、最大値を超過  
しているが、誤記入の可能性もあり判断でき  
ないため、そのままとする。

**問6** 阪神高速道路で行われている「環境ロードプライシング」の試行について、お聞きします。

**(1)** 現在の阪神高速道路の通行料金は、右頁に示すとおりです。

1) 阪神高速湾岸線の料金が、いくら割引かれたら、調査日の通行ルートを湾岸線に変更されますか。

回答欄 1~3のいずれか1つに○印を記入してください。1を選ばれた方は矢印に従い、必要事項を記入してください。

①湾岸線に変更する      2.変更しない      3.わからない

割引額： 1200 円      (通常料金からの割引の金額を記入してください。)  
割引対象区間： ①西線 2.西線～東線 3.東線      (どれか1つで囲んでください。)

湾岸線に変更する通行ルート番号を **図B** の回答欄から全て選び、ご記入ください。

★ 変更する通行ルート番号 ( \_\_\_\_\_ )

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。



【調査票のチェック(問2)】(事例13)

点検項目

対応

出発地・目的地に、地名が文字で記入されており、  
入力できない



文字を該当する番号に訂正する

出発地と目的地を文字で記入しているため、  
選択肢番号に訂正する。

表の記入方法

<p>(1) 調査日にあなたが運行した出発地・目的地を以下から選び、ご記入下さい。</p> <p>1. 尼崎市南部 (国道2号以南)      2. 尼崎市北部 (国道2号以北)</p> <p>3. 西宮市・芦屋市                      4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)</p> <p>5. その他の神戸市                      6. 大阪市 (西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)</p> <p>7. その他的大阪市                      8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町</p> <p>9. 丹波・但馬地域                      10. 淡路島・四国</p> <p>11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西      12. 大阪府以東</p>	<p>(2) 出発地～目的地までの間に、どの交差点間を通行しましたか。</p> <p>図中の ①～②④ から選択してください。</p> <p>図中の ②⑤～⑤⑥ から選択してください。</p>	<p>(3) 出発地～目的地までの間に、どのIC・ランプを出入しましたか。</p> <p>出入したIC・ランプを図中の ⑤⑦～⑤⑦ から選択してください。</p> <p>図中にIC・ランプ番号がない場合は、直接名称をご記入ください。</p> <p>阪神高速神戸線と湾岸線・ルバーンウェイを乗継がれた場合、そのランプ番号を( )にご記入ください。</p>
--	--	--

回答欄 通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道43号の通行区間	国道2号の通行区間	有料道路の通行区間	
							入口IC・入ランプ	出口IC・出ランプ
1	〇〇市	〇〇市	23 時台	AM 5 時台	→	→	〇〇IC ( ) ( )	〇〇IC ( ) ( )
2			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
3			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
4			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
5			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
6			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
7			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
8			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
9			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )
10			時台	時台	→	→	( ) ( )	( ) ( )

問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック(問2)】(事例14)

点検項目	対 応
出発地・目的地に選択肢にない番号を記入しており、入力できない	正しい回答が判断できないため無回答とする

出発地・目的地を記入する欄に、選択肢にない番号を記入しているため無回答とする。

表の記入方法

(1) 調査日にあなたが運行した出発地・目的地を以下から選び、ご記入下さい。	(2) 出発地～目的地までの間に、どの交差点間を通行しましたか。	(3) 出発地～目的地までの間に、どのIC・ランプを出入りしましたか。
1. 尼崎市南部 (国道2号以南)      2. 尼崎市北部 (国道2号以北) 3. 西宮市・芦屋市                      4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区) 5. その他の神戸市                      6. 大阪市 (西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区) 7. その他の大阪市                      8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町 9. 丹波・但馬地域                      10. 淡路島・四国 11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西      12. 大阪府以東	図中の ① ～ ②⑧ から選択してください。 図中の ②⑨ ～ ⑤⑥ から選択してください。	出入りしたIC・ランプを図中の ⑤① ～ ⑤⑦ から選択してください。 図中にIC・ランプ番号がない場合は、直接名称をご記入ください。 阪神高速神戸線と湾岸線・ルバーワイを乗継がれた場合、そのランプ番号を( )にご記入ください。

回答例 通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道43号の通行区間	国道2号の通行区間	有料道路の通行区間	
							入口IC・入ランプ	出口IC・出ランプ
1	14	28	8 時台	9 時台	14 → 28	→	( )	( )
2			時台	時台	→	→	( )	( )
3			時台	時台	→	→	( )	( )
4			時台	時台	→	→	( )	( )
5			時台	時台	→	→	( )	( )
6			時台	時台	→	→	( )	( )
7			時台	時台	→	→	( )	( )
8			時台	時台	→	→	( )	( )
9			時台	時台	→	→	( )	( )
10			時台	時台	→	→	( )	( )

→ 問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック(問2)】(事例15)

点検項目	対応
------	----

時刻を24時間制で記入していない



24時間制に訂正する

前後の回答から「1時台」の回答は12時間制での回答が明らかであるため、「13時台」とする。

表の記入方法

<p>(1) 調査日にあなたが運行した出発地・目的地を以下から選び、ご記入下さい。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 尼崎市南部 (国道2号以南)</td> <td>2. 尼崎市北部 (国道2号以北)</td> </tr> <tr> <td>3. 西宮市・芦屋市</td> <td>4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)</td> </tr> <tr> <td>5. その他の神戸市</td> <td>6. 大阪市(西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)</td> </tr> <tr> <td>7. その他の大阪市</td> <td>8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町</td> </tr> <tr> <td>9. 丹波・但馬地域</td> <td>10. 淡路島・四国</td> </tr> <tr> <td>11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西</td> <td>12. 大阪府以东</td> </tr> </table>	1. 尼崎市南部 (国道2号以南)	2. 尼崎市北部 (国道2号以北)	3. 西宮市・芦屋市	4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)	5. その他の神戸市	6. 大阪市(西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)	7. その他の大阪市	8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町	9. 丹波・但馬地域	10. 淡路島・四国	11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西	12. 大阪府以东	<p>(2) 出発地～目的地までの間に、どの交差点間を通行しましたか。</p> <table border="0"> <tr> <td>図中の ①～②⑧ から選択してください。</td> <td>図中の ②⑨～⑤⑩ から選択してください。</td> </tr> </table>	図中の ①～②⑧ から選択してください。	図中の ②⑨～⑤⑩ から選択してください。	<p>(3) 出発地～目的地までの間に、どのIC・ランプを出入しましたか。</p> <p>出入したIC・ランプを図中の ⑤⑪～⑤⑲ から選択してください。</p> <p>図中にIC・ランプ番号がない場合は、直接名称をご記入ください。</p> <p>阪神高速神戸線と湾岸線・ルーフハイを乗越された場合、そのランプ番号を( )にご記入ください。</p>
1. 尼崎市南部 (国道2号以南)	2. 尼崎市北部 (国道2号以北)															
3. 西宮市・芦屋市	4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)															
5. その他の神戸市	6. 大阪市(西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)															
7. その他の大阪市	8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町															
9. 丹波・但馬地域	10. 淡路島・四国															
11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西	12. 大阪府以东															
図中の ①～②⑧ から選択してください。	図中の ②⑨～⑤⑩ から選択してください。															

通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道43号の通行区間	国道2号の通行区間	有料道路の通行区間	
							入口IC・入口ランプ	出口IC・出口ランプ
1	6	1	10 時台	11 時台	1 → 6	36 → 35	( )	( )
2	1	7	12 時台	<del>13</del> 時台	6 → 1	35 → 36	( )	( )
3			時台	13 時台	→	→	( )	( )
4			時台	時台	→	→	( )	( )
5			時台	時台	→	→	( )	( )
6			時台	時台	→	→	( )	( )
7			時台	時台	→	→	( )	( )
8			時台	時台	→	→	( )	( )
9			時台	時台	→	→	( )	( )
10			時台	時台	→	→	( )	( )

→ 問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック(問2)】(事例16)

点検項目	対応
2号の交差点番号が43号の通行区間に記入されている等、記入欄を間違えている	正しい記入位置に修正する

国道2号線の交差点番号を国道43号線の通行区間に記入しているため、国道2号線の通行区間に記入する。

**表の記入方法**

<p>(1) 調査日にあなたが運行した出発地・目的地を以下から選び、ご記入下さい。</p> <p>1. 尼崎市南部 (国道2号以南)    2. 尼崎市北部 (国道2号以北)</p> <p>3. 西宮市・芦屋市            4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)</p> <p>5. その他の神戸市            6. 大阪市 (西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)</p> <p>7. その他の大阪市            8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町</p> <p>9. 丹波・但馬地域            10. 淡路島・四国</p> <p>11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西    12. 大阪府以东</p>	<p>(2) 出発地～目的地までの間に、どの交差点間を通行しましたか。</p> <p>図中の ①～②④ から選択してください。</p> <p>図中の ②③～⑤⑥ から選択してください。</p>	<p>(3) 出発地～目的地までの間に、どのIC・ランプを出入りしましたか。</p> <p>出入りしたIC・ランプを図中の ①②～④⑤ から選択してください。</p> <p>図中にIC・ランプ番号がない場合は、直接名称をご記入ください。</p> <p>阪神高速神戸線と湾岸線・ルバーイウェイを乗継がれた場合は、そのランプ番号を( )にご記入ください。</p>
--	--	---

正しい位置に記入

回答欄 通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道2号の通行区間		有料道路の通行区間	
					国道2号の通行区間	国道2号の通行区間	入IC・入ランプ	出IC・出ランプ
1	2	6	7時台	8時台	<del>37</del> → 34	37 → 34	( )	( )
2	6	4	13時台	14時台	→	34 → 50	( )	( )
3			時台	時台	→	→	( )	( )
4			時台	時台	→	→	( )	( )
5			時台	時台	→	→	( )	( )
6			時台	時台	→	→	( )	( )
7			時台	時台	→	→	( )	( )
8			時台	時台	→	→	( )	( )
9			時台	時台	→	→	( )	( )
10			時台	時台	→	→	( )	( )

→ 問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック(問2)】(事例17)

点検項目	対応
------	----

有料道路の通行ランプ番号を誤った回答欄に記入している 正しい記入位置に修正する

乗継ぎしていないのに「(73)」と記入しているため、正しい記入位置に「73」と記入する。

表の記入方法																
<p>(1) 調査日にあなたが運行した出発地・目的地を以下から選び、ご記入下さい。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 尼崎市南部 (国道2号以南)</td> <td style="width: 50%;">2. 尼崎市北部 (国道2号以北)</td> </tr> <tr> <td>3. 西宮市・芦屋市</td> <td>4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)</td> </tr> <tr> <td>5. その他の神戸市</td> <td>6. 大阪市(西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)</td> </tr> <tr> <td>7. その他的大阪市</td> <td>8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町</td> </tr> <tr> <td>9. 丹波・但馬地域</td> <td>10. 淡路島・四国</td> </tr> <tr> <td>11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西</td> <td>12. 大阪府以东</td> </tr> </table>	1. 尼崎市南部 (国道2号以南)	2. 尼崎市北部 (国道2号以北)	3. 西宮市・芦屋市	4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)	5. その他の神戸市	6. 大阪市(西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)	7. その他的大阪市	8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町	9. 丹波・但馬地域	10. 淡路島・四国	11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西	12. 大阪府以东	<p>(2) 出発地～目的地までの間に、どの交差点間を通行しましたか。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">                 図中の ①～⑫ から選択してください。             </td> <td style="width: 50%;">                 図中の ⑬～⑳ から選択してください。             </td> </tr> </table>	図中の ①～⑫ から選択してください。	図中の ⑬～⑳ から選択してください。	<p>(3) 出発地～目的地までの間に、どのIC・ランプを出入しましたか。</p> <p>出入したIC・ランプを図中の ㉑～㉒ から選択してください。</p> <p>図中にIC・ランプ番号がない場合は、直接名称をご記入ください。</p> <p>阪神高速神戸線と湾岸線・ルーフウェイを乗継がれた場合、そのランプ番号を( )にご記入ください。</p>
1. 尼崎市南部 (国道2号以南)	2. 尼崎市北部 (国道2号以北)															
3. 西宮市・芦屋市	4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)															
5. その他の神戸市	6. 大阪市(西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)															
7. その他的大阪市	8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町															
9. 丹波・但馬地域	10. 淡路島・四国															
11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西	12. 大阪府以东															
図中の ①～⑫ から選択してください。	図中の ⑬～⑳ から選択してください。															

回答欄	通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道43号の通行区間	国道2号の通行区間	有料道路の通行区間	
								入口IC・入ランプ	出口IC・出ランプ
	1	6	12	6時台	6時台	→	→	73 (73)	( ) 00
	2	12	6	11時台	11時台	→	→	00 ( )	(73) 73
	3			時台	時台	→	→	( )	( )
	4			時台	時台	→	→	( )	( )
	5			時台	時台	→	→	( )	( )
	6			時台	時台	→	→	( )	( )
	7			時台	時台	→	→	( )	( )
	8			時台	時台	→	→	( )	( )
	9			時台	時台	→	→	( )	( )
	10			時台	時台	→	→	( )	( )

正しい位置に記入

正しい位置に記入

→ 問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。

【調査票のチェック(問2)】(事例18)

点検項目	対応
通行区間のランプ番号等が片方(出口)の回答欄にしか記入されていない	記入漏れ箇所の回答が不明であるため、そのままとする

出口ランプ番号のみ記入されており、入口ランプ番号は記入されていないが、入口ランプ番号は不明であるため、空欄のままとする。

**表の記入方法**

<p>(1) 調査日にあなたが運行した出発地・目的地を以下から選び、ご記入下さい。</p> <p>1. 尼崎市南部 (国道2号以南)      2. 尼崎市北部 (国道2号以北)</p> <p>3. 西宮市・芦屋市                      4. 神戸市 (灘区・東灘区・中央区)</p> <p>5. その他の神戸市                      6. 大阪市 (西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区)</p> <p>7. その他的大阪市                      8. 三田市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町</p> <p>9. 丹波・但馬地域                      10. 淡路島・四国</p> <p>11. 明石市など、その他の兵庫県・岡山・鳥取以西      12. 大阪府以東</p>	<p>(2) 出発地～目的地までの間に、どの交差点間を通行しましたか。</p> <p>図中の ① ～ ②⑧ から選択してください。</p> <p>図中の ②⑨ ～ ⑤⑩ から選択してください。</p>	<p>(3) 出発地～目的地までの間に、どのIC・ランプを出入しましたか。</p> <p>出入したIC・ランプを図中の ⑤⑪ ～ ⑤⑬ から選択してください。</p> <p>図中にIC・ランプ番号がない場合は、直接名称をご記入ください。</p> <p>阪神高速神戸線と湾岸線・ルバーイハイを乗継がれた場合、そのランプ番号を( )にご記入ください。</p>
--	--	---

回答欄 通行ルート番号	出発地	目的地	出発時刻	到着時刻	国道43号の通行区間	国道2号の通行区間	有料道路の通行区間	
							入口IC・入口ランプ	出口IC・出口ランプ
1	1	7	10 時台	11 時台	10 → 1	→	( )	( )
2	7	1	12 時台	13 時台	→	→	( )	( ) 75
3			時台	時台	→	→	( )	( )
4			時台	時台	→	→	( )	( )
5			時台	時台	→	→	( )	( )
6			時台	時台	→	→	( )	( )
7			時台	時台	→	→	( )	( )
8			時台	時台	→	→	( )	( )
9			時台	時台	→	→	( )	( )
10			時台	時台	→	→	( )	( )

→ 問4以降の質問で使用する「変更する通行ルート番号」とはこの数字です。

注 上記の記入事例は原票から一部転記したものである。